

かみ

議会だより

平成26年
3月定例会
第37号

小代小学校入学式



春らんまん
大きく育って!

— CONTENTS —

- **平成26年度予算** 2～5
- 魚(とと)条例制定 7
- 住民の声 届くか (13人が一般質問) 11～17
- この人 ここにあり 20

町民とともに 活力と安心を取り戻す町づくり

特別会計 53億 8,625万円
企業会計 56億 6,849万円

●特別会計・企業会計詳細

国民健康保険事業(診療所も含む)	27億9,310万円	矢田川憩いの村事業	3,726万円
後期高齢者医療保険事業	3億613万円	宅地造成事業	1,238万円
介護保険事業	22億400万円	公立香住病院事業	15億9,107万円
財産区	598万円	水道事業	11億8,615万円
町立地方卸売市場事業	190万円	下水道事業	28億9,127万円
国民宿舍事業	2,548万円		

※特別会計とは…一般会計に対し、特定事業など収入、支出を別個に処理する会計のこと

歳入

自主財源の主たる町税は、前年度比1.0%増見込みの17億7,122万円となり、国、県などから交付される依存財源の主たる地方交付税のうち普通地方交付税は前年度比0.2%減の59億3,400万円を見込んでいます。

また、借金に当たる起債の繰り上げ償還の財源とするため、約5億円の繰り入れをするため、繰入金金は5億9,264万円と、前年度に比べ大きく増加しています。

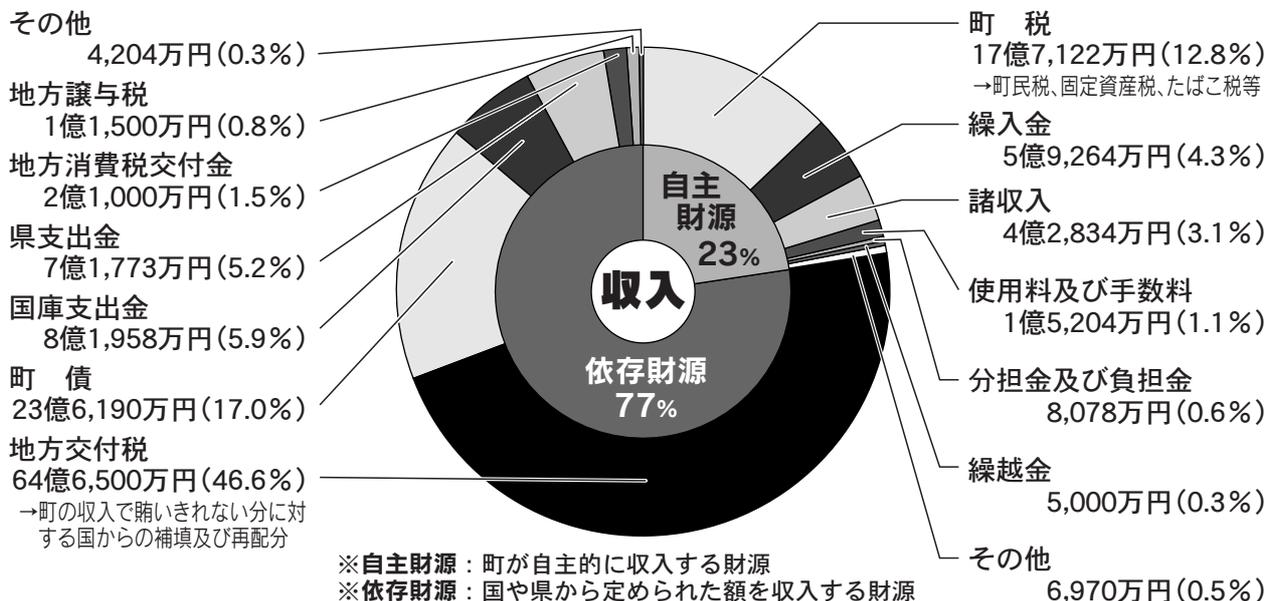
歳出

義務的経費である人件費は前年度比3.3%減の20億317万円見込みですが、職員退職加算納付金の減少、選挙従事者への報酬がなくなったことによるものが主な要因です。

また、投資的経費である普通建設事業費は前年度比6.5%増見込みの23億8,148万円で、北但ごみ処理施設整備事業、学校施設の耐震化・整備事業などを予定しています。

3月定例会は2月26日から3月24日までの27日間の会期で開催しました。
また、予算特別委員会(谷口眞治委員長)では6日間の審査をおこない、最終日の本会議において賛成多数で可決しました。
一般質問では13人の議員が行政全般に質問と政策提言をいたしました。

一般会計



産業・観光の振興

香美町役場神戸営業所 設置
ジオパークと海の文化館 開館



26年度予算

一般会計予算 138億 7,600万円

主な新規事業

ふるさと給食推進事業	475万円	農業経営体育成支援事業	366万円
土曜日教育支援事業	25万円	森林整備地域活動支援事業	750万円
出産祝福事業	40万円	ジオパークと海の文化館運営	1,491万円
保育士等处遇改善事業	578万円	香美町役場神戸営業所運営	297万円
介護保険施設等整備事業	1,000万円		

討論

4月に70歳を迎える方から順に、74歳まで窓口負担が2割になる。また、国保税の限度額を4万円引き上げ、

反対討論 山本 賢司議員

国民健康保険事業 特別会計予算

香美町の安全安心を取り戻す施策を掲げ、積極的に取り組む姿勢が見られる。これらの施策は、町の活力を取り戻すものだとは確信している。

賛成討論 見塚 修議員

5億円の繰上償還を優先させ、ごみ広域処理に5億円負担、粗大系ごみ処理に民間委託という誤り。また、ふるさと商品券発行経費への助成引下げや出産祝福に商品券3千円分など全体として優先順位を誤っている。

反対討論 山本 賢司議員

一般会計予算

1人当たり4千329円も増税を見込んでいるので反対する。

後期高齢者医療 保険事業特別会計予算

反対討論 山本 賢司議員

75歳以上の方だけを対象とした制度があつてはならない。保険料は増え、限度額も引き上げられており、高齢者を苦しめる予算に賛成できない。

水道事業企業会計予算

反対討論 山本 賢司議員

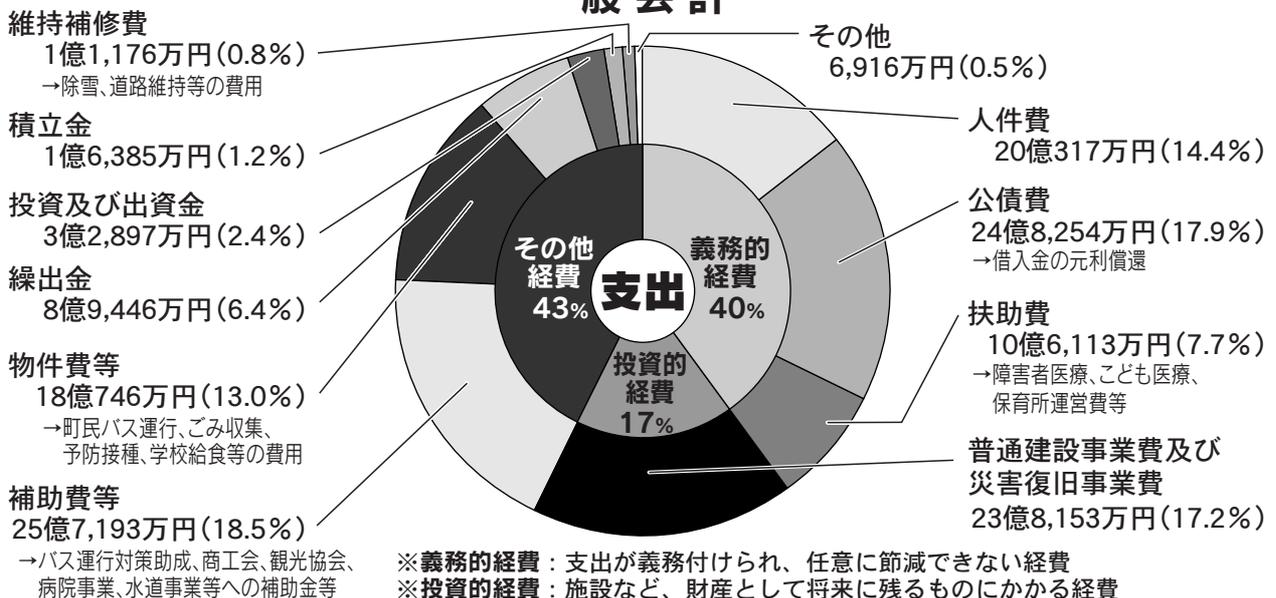
7月から第三次料金改定が始まり、特に香住区の方は負担増になると予想されるので反対する。

下水道事業企業会計予算

反対討論 山本 賢司議員

7月からの料金改定で、下水道接続により経営への悪影響が心配されるので反対する。

一般会計



いてよかった」と思える町づくりへ!!

総括

総括のみ
町長・教育長が答弁

問 神戸営業所の運営について、旅行業OB等のアドバイスなどを取り入れる仕組みを作るべき
答 民間旅行業のOB等の意見を聞ける機会がありましたら、活用したいと思えます。

問 出産祝い金は175万円減額、出産祝い品は39万円の増額であるが、新生児一人当たり3千円子育て世代からは、不満の意見を聞くが、どう考えるか
答 小学生・中学生の医療費を無料にしています。厳しい町財政の中で努力した金額でありますのでご理解をお願いします。

総務課

問 集会施設用地支援交付金の内容説明を
答 平成26年度より各地区の集会用施設について



支援の対象となる集会施設

財政課

地区所有地については固定資産税の減免を行い、賃借地については固定資産税相当額を支援交付金として支出予定です。

問 今後の実質公債費比率は
答 平成24年度決算では19・1%、平成25年度は16・8%、以降、14・4%、12・8%となる見込みです。

企画課

問 若者定住対策費の内容説明を
答 本事業は、若者による住宅取得を奨励し、定住の促進を図ると共に結婚対策のため、独身男女の交流を推進します。

税務課

問 徴税の取り組みについて説明を

町民課

問 本町では毎年5月、8月、12月を徴収強化月間として、税務課全職員と地域局職員による夜間徴収を実施しています。この様な訪問徴収は一定の成果を上げています。

問 ゴミの分別収集をどう進めるか
答 10月以降は、新規分別区分による収集に移行するため、ゴミの分け方出し方についてのマニュアルを作成し、全戸配布を行うとともに説明会等を開催して周知します。

健康課

問 子宮頸がんワクチン接種の今年度事業は
答 平成25年4月に定期接種化されましたが、持続的な痛みなどの副反応と接種との因果関係が否定できないとして、町から対象者に積極的勧奨は差し控えています。

福祉課

問 臨時福祉金事業とは
答 本年4月から消費税が8%に上げられたことに伴い低所得者への影響を緩和するため、暫定的臨時措置として臨時福祉金を支給します。

農林水産課

問 優良肉用雌牛保留対策補助金について
答 美方郡産及び豊岡産雌牛の導入、又は自家保留を行った者で、たじま農業協同組合長の推薦する牛が対象になります。
前年の飼育頭数が30頭未満の者は1頭当たり10万円の補助金を12万円に、30頭以上の農家は4万円を5万円に増額する予定です。
優良子牛の自家保留・市場購入等もすすめ、畜産農家の支援を行います。

「この町に生まれてよかった。住んで



施設統合される日影浄水場

観光商工課

問 神戸営業所の業務目標について説明を

答 京阪神地域の観光関連業界や会社と町内関連団体等との「橋渡し役」になることを主な役割としています。町長の掲げる「観光入込数20%アップ」は常に意識して営業活動を進めます。

建設課

問 除草委託料について

答 除草委託については、集落内の道路ではなく、集落間を結ぶ路線を対象に町のイベントや地域事業に合わせ、除草業務を予定しております。

問 簡易水道事業の今後の統合、広域化の検討は

上下水道課

答 守柄簡易水道と長井簡易水道のうち加鹿野地区を水道へ、日影浄水場を村岡浄水場へ施設統合し、平成28年度末までに簡易水道事業をすべて廃止し、水道へ経営統合する予定です。

教育総務課

問 27年度4月に出石特別支援学校分校が旧射添中に開校されるが、課として取り組むべき課題は

答 射添地区公民館の移転整備、県への施設譲渡に伴う調整・事務処理等、休日・夜間の体育館及びグラウンドの利用調整が課題です。

子ども教育課

問 いじめ問題対策連絡協議会設置の位置づけは

答 25年の国のいじめ防止対策推進法の制定を受け、県町と体系的に組織を立上げるもので、本町では26年度に立上げていじめ防止等を審議します。

生涯学習課

問 土曜日教育支援事業について課の考え方は

答 26年度から開始する県の補助事業で、5年計画で10校区が対象です。コーディネーターを配置し地域の有能な人材、企業等との連携を図り豊かな土曜日教育活動の実現を図ります。

香住病院

問 医師招への取り組みは

答 全国自治体病院協議会や大学病院、兵庫県健康福祉部などに出向き依頼を行っており、兵庫県医師会のドクターバンクへの登録、香美町や公立香住病院のホームページに医師募集を掲載しています。



土曜日教育で地域との交流を

ごみの分別方法 10月より変更

- ◆町指定のごみ袋が変わります!
- ◆5分別から9分別へ!

条例改正
・制定

香美町指定ごみ袋の名称及び料金の対比表

区分	改正前			改正後			分別区分番号
	名称	大小の別	料金(一枚当り)	名称	大小の別	料金(一枚当り)	
指定袋	燃えるごみ	大	60円	燃やすごみ	大	60円	1
		小	45円		小	45円	
	燃えないごみ	大	60円	燃やさないごみ	大	60円	5・6・7
		小	45円		小	45円	
				資源ごみ	大	20円	2・3・4
					小	15円	
			紙製容器包装		無料	9	
シール	燃えるごみ・燃えないごみ		100円	粗大ごみ		100円	1・5・7
	指相大ごみ		1,100円				
持ち込み	持ち込み10kgにつき		100円	持ち込み10kgにつき		100円	

ごみの新分別区分

番号	分別区分
1	燃やすごみ
2	ペットボトル
3	プラスチック製容器包装
4	カン・ビン
5	燃やさないごみ
6	蛍光管
7	粗大ごみ
8	乾電池類
9	紙製容器包装
『古紙類』の日(無料回収)	
新聞・雑誌・ダンボール・紙パック・9番	

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正、香美町立ジオパークと海の文化館条例制定など、条例制定・改正・廃止の18議案と議員提案の魚食普及促進条例が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

質疑
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

問 10月より5分別が9分別となるが、プラスチック製のごみも燃やすごみの分類でよいのか

答 基本は資源ごみですが、ペットボトル以外や汚れたプラスチック類を燃やしても、ダイオキシン等の問題はないです。

賛成多数で可決

福祉医療費助成条例の一部改正

質疑

問 本町で該当する人はどれくらいいるか

答 老人医療で110人、母子家庭等医療で203人が対象となります。

問 老人医療費の低所得者で7月から2割負担となる人は何人か

答 110人中、40人が2割負担となり影響を受けます。

反対討論 山本賢司議員

低所得の高齢者の方や

母子家庭等の方の暮らしに影響し、不安にさせる改正は認められない。

賛成多数で可決

香美町立ジオパークと海の文化館条例制定

質疑

問 条例第10条に指定管理者の条項があるが、どこかに管理させる予定があるのか

答 現在は指定管理に移行する考えはありません。

全員賛成で可決

香美町職業訓練センター条例を廃止

質疑

問 廃止に伴いフオークリフト等の講習の代替や補助など、どのような手立てを考えているか

答 豊岡で2団体が講習を実施していますし、講習等も補助対象となります。

全員賛成で可決

その他の条例制定・改正・廃止

- 香美町今子浦公園条例制定
- 香美町税条例の一部改正
- 香美町区集会所条例の一部改正
- 一般職の職員給与に関する条例の一部改正
- 非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
- 小代区オフトーク通信施設条例廃止

全員賛成で可決



全国初 香美町魚食普及促進条例



◆ 香美町魚(とと)の日 毎月20日!
◆ 香美町魚食普及月間 毎年10月!



消費者の魚離れに歯止めをかけ、魚介類の消費拡大と地域活性化を図るために、2月26日『香美町魚食の普及の促進に関する条例(通称 香美町とと条例)』が議員提案され、2月28日に全員賛成で原案どおり可決しました。

提案者説明

提出者 西川誠一議員
賛成者 森 利秋議員

地域の水産振興及び水産物の消費拡大並びに地域経済の活性化を図り、魚食普及促進への関心と理解を深めるため、毎年10月を『香美町魚食普及月間』とし、毎月20日を『香美町魚の日』と定めます。

質疑

問 普及月間を毎年10月とした理由は

答 昭和60年に水産庁が食育を推進し、米を中心に、水産物を含めた多様な副食から構成された栄養バランスのとれた日本型食生活の実践を推進するために制定したもので、地元でも10月に『土曜魚

祭り』を行っているので、準じて10月としました。

問 毎月20日を『魚(とと)の日』とした理由は

答 幼児ことばで魚を『とと』と言うことがありますが、十、十を二つ合わせて二十となり、毎月20日を『香美町魚の日』としました。

全員賛成で可決



とと活隊発足式

○香美町総合計画の変更

平成19年～平成28年(10年間)
平成19年～平成27年(9年間)

総合計画は町の最上位計画です。法改正により平成28年度から5年間延長する予定の過疎地域自立促進計画(平成22年～27年までの6年間)との整合性が不可欠であるため、現行総合計画を1年短縮し、第2次総合計画と次期過疎計画の始期を平成28年度に統一するものです。

賛成多数で可決

問 過疎計画を変更し、総合計画の始期に合わせることができないか

答 総合計画は、議会の承認を得て市町村独自で作成できますが、過疎計画は都道府県との調整が必要であり町独自の計画変更は困難です。

○過疎地域自立促進計画の変更

過疎対策事業推進のため過疎計画を変更し、次の事業を計画に加えます。

奥佐津・兎塚・射添小学校体育館耐震化、柴山小・香住第二中・小代中体育館天井落下防止事業、道路改良、橋梁修繕、消防格納庫整備事業など。

全員賛成で可決

○辺地総合整備計画の変更・策定

相岡辺地

町道家ノ前線は民家が集中している集落の中心を通っているが、道幅が狭く、緊急車両の進入ができない。防炎道路、生活道路として整備することにより安心・安全な生活環境をつくるため、平成24年度から2年間の整備計画の期間を1年延長し、事業費を増額する変更を行います。

奥佐津辺地・御崎辺地

冬季の降雪で中学生が通学に支障をきたし、寄宿舎対応をしていましたが、寄宿舎の老朽化、利用生徒数の減少により改修は行わずスクールバス通学に対応する整備計画を策定します。

全員賛成で可決

○公有財産の旧慣使用の一部を廃止することについて

村岡区の縁故使用地について、権利関係の明確化を図るため、廃止申し出を受けた入江区・丸味区及び長須区に係る公有財産の旧慣使用を廃止するものです。

全員賛成で可決

問 固定資産税等は、自治区が負担しているが、何とかならないのか

答 旧慣による従前の権利を侵害しないよう配慮を進めていきます。

5.5兆円

国の経済対策による補正予算

平成25年度
補正予算

学校耐震化等前倒しで補正

3月定例議会では、国の補正の前倒し予算によるものと決算を見据えたものが主な内容ですが、一般会計、国民健康保険事業・後期高齢者医療保険事業・介護保険事業・国民宿舎事業・矢田川憩いの村事業・宅地造成事業特別会計で質疑がありました。賛成多数で可決、他の特別会計など6議案は全員賛成で可決しました。主な質疑は次のとおりです。

一般会計

質疑

問 北但西部森林組合からの寄付金は税法上正しいのか

答 若干の問題を御指摘されましたが現時点では寄付金で対応します。

問 木質チップ生産施設整備費の負担割合は

答 補助残の3分の2は森林組合、3分の1を香美町・新温泉町が協議の上、森林面積割で負担します。

問 木質バイオマス供給施設等整備事業費の国の補正予算による内容は

答 この事業については、特例が設けられており平

成25年度中に交付決定または支出負担行為のなされた事業にあつて、年度内に事業の終了に至らなかった場合には26年度に限りその事業の執行を認める条件があります。

問 ジオパークマラソンについて、今後増額もありうるのかの質疑に「今



新築予定のチップ工場

のところ考えていません。なるべく自主財源で」との答弁があった。また当日は香住漁港ではセリはないが、水産加工業者の出荷に支障はないか

答 その後警察との協議でマラソンコースが変更となりました。警備の方法が変わり、また資機材の増加とすることから半額の増とさせていただきました。水産加工業者の出荷については、様々な制約があるとは思いますが、実行委員会と加工業者の方で協議していただく中で少しご協力いただいで大会がスムーズに運営できるようご理解いただければありがたいと思います。協議には町も参加させていただきま

問 本年の起債残高が約11億円増となるが、年度末の残高はどうなるのか

答 25年度より3年間大型事業を進めています。できるだけ早い時点で180億円に落ち着かせてそのコントロールができれば実質公債費比率など

の財政的な指標について健全な運営になります。

問 国の補正予算の前倒し事業の中でハード部分で約8億円発注されるが、26年度の完成を懸念するその計画は

答 村岡小学校整備事業、長井小学校・余部小学校耐震、柴山小学校・香住第二中学校・小代中学校体育館天井落下防止、村岡幼稚園舎改築工事は8月末までには完成の予定です。

できない収集ごみを豊岡市に運んでいただいた経費です。

問 資源ごみ選別委託料

答 56万9千円増は火災事故以降レインボーで処理できないものについて豊岡市・新温泉町に受け入れていただき、分別をそれぞれの施設で行うための経費です。

問 北但行政事務組合負担金2千137万円減は

答 進入道路の造成の相当分の工事におきまして、軟弱地盤等があり、4カ月余り工事が遅れています。25年度の予算計上分からみて減額したものです。

債務負担行為等々の補正について賛成できません。矢田川レインボーの不燃ごみ処理施設についてまだ修理すれば使用可能であるにもかかわらず、十分に精査をしないで使用できないとの理由で民間業者に全面委託することに反対である。

賛成多数で可決

問 一般廃棄物収集運搬委託料16万2千円増は

答 矢田川レインボー火災事故以降の村岡区の一一般廃棄物収集運搬委託者にレインボーが受け入れ

請 願

採 択

要支援者への介護保険給付等の継続を
求める意見書の提出を求める請願書

請願者 井上 政信
ほか484人
紹介議員 山本 賢司
西谷 尚

請願及び意見書の趣旨

1. 要支援者への介護保険給付は今まで通り継続すること
2. 一定以上の所得がある人の利用料を2割に引き上げないこと
3. 特別養護老人ホームへの入居制限はしないこと

総務民生常任委員会に付託され、全員賛成で採択。本会議で質疑・討論の後賛成多数で採択し、意見書を可決、国に提出しました。

高齢化が進む中、在宅サービスを提供し住み慣れた地域で暮らして行くという介護保険制度が今後も持続可能なものとしていくために必要な法改正である。

賛成多数で採択

意見書

否 決

特定秘密保護法の廃止を
求める意見書

提出者 山本賢司議員
賛成者 谷口眞治議員

意見書の趣旨

国民主権、基本的人権、平和主義という日本国憲法の基本原則をことごとく蹂躪する違憲立法である。速やかに廃止することを強く要請する。

政府が防衛・外交・スパイ・テロに係る広範な情報を「特定秘密」指定するとしているが、国会の国政調査権が制約される報道の自由、表現・出版の自由など基本的人権が著しく侵害されるおそれのある法案廃止に賛成する。

賛成少数で否決

人 事

教 育 委 員

次の方を教育委員として任命することに同意しました。
任期は平成26年5月31日から4年間です。



村岡区日影445番地
にしむら ゆかり さん

人 権 擁 護 委 員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。
任期は平成26年7月1日から3年間です。



香住区訓谷28番地
やました ゆみこ さん

固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会 委 員

次の方を固定資産評価審査委員会委員として任命することに同意しました。
任期は平成26年5月30日から3年間です。



香住区浦上1261番地の2
しばた しょうじ さん



村岡区大糠132番地の7
にしむら たかし さん



小代区大谷60番地
やまもと たもつ さん

平成25年度香美町一般会計補正予算(第5号)

1. 寄付金増によるふるさとづくり事業費の増額補正（ふるさと納税関連）

2. 落雷により被害を受けた兎和野高原野外教育センターの復旧に係る管理運営費の追加補正

3. 矢田川レインボー火災による、民間業者への委託料等、ごみ処理費の追加補正

4. 昨年12月に焼失した村岡区新町住宅10号棟の解体改築工事費で、年度内の完成が困難であるので繰越事業とするもの

1月20日、臨時議会が開かれ平成25年度一般会計予算の内、主に4事業についての補正が提案され、ごみ処理費に係る清掃費の補正を認めない修正動議が提案されましたが否決、原案どおり可決しました。

質疑

問 1月6日以降持ち込みごみを矢田川レインボーで全て受け入れるというのだが、どのように処理しているのか

答 カン・ビン類については一時ストックし、一定量貯まったら豊岡へ搬入します。粗大ごみは焼却可能なものは選別焼却し、それ以外は豊岡市へ持ち込みます。

問 火災の原因について不明のままで、今後究明しないのか

答 可燃性のある気体状のものがラインに流れて引火して燃え広がったもので、これ以上の究明は難しいと考えています。

修正動議否決

原案賛成多数で可決

議案の審議結果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議員名		岸本 正人	藤井 昌彦	見塚 修	徳田喜代子	西谷 尚	山森 昭夫	山本 賢司	谷口 眞治	寺川 秀志	森 利秋	田野 公大	橘 秀太郎	西川 誠一	上田 勝幸	西村 伸一	西坂 秀美
1月臨時会	議案第1号	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	—
		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	—
3月定例会	議案第9号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第15号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第25号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第26号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第27号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第35号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第36号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第43号	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第44号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	請願第1号	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	—
意見書第2号	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	—	
意見書第1号	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	—

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので—で表示しています。

町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月13日と14日に13名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



名前（愛称）を待つ産業道路・中央公民館



先行地籍調査で事業着手の扉を開こう

町に活力を取り戻す施策の一つとして町の建物、道路や橋の名前を変更し



見塚 修 議員

公共施設の名(愛称)で町に活力を ネーミングに小中高生のアイデアも

たり愛称をつけ、観光に役立て町民に親しみをいただくことを考えないか。又名付親として各団体が、斬新な考えのある小中高女子生徒に考えていただくことを考えないか。そして名前、愛称のPRの方法として、種々の

パンフレット、案内文書への記載とともに、垂れ幕、のぼり、道路案内板の設置で観光客や町民への親しみ、長続きが必要と考えるがどうか

道路や橋を含め公共施設が観光に役立ち、町民に親しむためのネーミングのアイデアを小中高生の皆さんにいただくことや町内外の皆さんから名前をつけていただくことを進めます。又地域での観光資源、長続きのために現行補助制度の中で可能な限り考え方を示すとともにその方向で進めます。

町長 提言は重要なことで住民の理解と誘引する施策が必要と考えます。

町長が進めている鳥取豊岡宮津自動車道の下岡から豊岡方面への延伸の早期完成は地籍調査と絡めて推進すべきだ。道路の早期着工に繋げることが出来る地籍調査



寺川 秀志 議員

町長 提言どおりの方角で考えたいのですが、一番の問題は、豊岡まで

の指定区間になっていないことです。指定区間への格上げを各方面に陳情し、格上げになってからでも地籍調査は、可能だと思えますので下岡から豊岡までの指定区間への格上げになることを目標に頑張っていきます。そこで格上げになり、事業着手が数年先に見えてきましたら、その時点で地籍調査を行っても間に合うと思っております。

有利な制度の活用で地籍調査を指定区間へ格上げになってからします



どこを目指して！



子どもから大人まで楽しめる交流の場に！

海の文化館にメタンの実験炉を 設置の可能性を探ってみます



徳田喜代子 議員

4月にジオパーク推進
拠点として『香美町立ジ
オパークと海の文化館』

がリニューアルオープンするが、ジオの恵みとも言える『燃える氷』と呼ばれるメタンハイドレートを紹介するために映像や海底部分に存在するメタンハイドレートをデフォルメして再現したジオラマを設置、実験体験コーナーの一角ではメタン

ハイドレートの人工材からメタンの「火」を灯して全国に発信すべきと思うが、町長の所見を伺う

したいと思います。人工材のメタンハイドレートで燃焼実験をする実験炉ということは町でも対応可能なことに聞こえますし、費用、著作権を含めていろいろな部分で問題はないのか内部で協議し、できることなら近い将来自然の物に先んじて実験炉設置の可能性は探ってみてみたいと思います。

住民ニーズを踏まえた病院構想を 現時点で手術可能な病院構想は困難



山森 昭夫 議員

過疎化の悪循環の現状を考えると協議会で示された方向性とは別に住民ニーズを踏まえた「目指す香住病院構想」と推進計画を整えて順次進める必要があると思うが、考えを伺いたい

の医療体制は安心な高齢者の暮らし、子育ての環境は確保できています。また、在宅での看取り支援を構築し、医療・福祉・介護の総合施設として連携を図りながらさらに満足度の高いサービス提供に努めています。

手術可能な病院構想は、現時点では困難と考えています。

但馬の医療確保対策協議会が、報告書で示された慢性期医療を担当する基本的な方向性や考え方で「香住病院の医療体制」を固定しての考えなのか。若者の流出と少子高齢・

町長 医療福祉の基本は「必要な時に身近にある」ことだと考えています。この観点から香住病院



香美町役場神戸営業所



子供たちは町の宝です！

JR西日本が2017年春をめどに大阪、京都から日本海を通って瀬戸



橘 秀太郎 議員

豪華列車構想と神戸営業所について 構想が具体化したら協議を進めます

内へ抜ける豪華寝台列車の構想を昨年10月に打ち出しました。その構想を町の観光振興にどのよう

に役立てていくか。香美町役場神戸営業所が4月から設置されるが、職員の仕事について、指示、連絡等、仕事のケアはどのようにされるか



西谷 尚 議員

子供たちに、帰ってこいよ教育を 保護者や地域が迎えらるる環境を！

ふるさと教育をもう一歩進めて「ふるさとに帰ってくるんだよ!」「都会で力をつけたら、香美町を自分たちの力で、町を良くして行かなければあかんだよ!」

都会に出ても、自分が技術や知識を身につけて、この町で生活を築くんだという意気込みが持てる教育が必要だと考えている。まさに、ふるさと教育はふるさととの為の教育だと思いが、今後の教育の取り組みの中でそのアピールが出来る余地と、さらなる取り組みが出来ないか

【教育長】子供たちを育てるという背景にこの地域が生き残って行けるのか、担って行ける地域になるのか根底にあります。やはり地域のこどもに、保護者や地域がまず帰って来いよと言える様な地域になっていただくことが重要です。教育もそのような方向で子供を育ててまいります。

【町長】豪華寝台列車の構想は、まだ情報も少なく、JRの福知山支社長との懇談でも具体的計画・情報は把握できかねているのが現状です。現段階でそれをどう観光振興に生かしていくのか検討はしていませんが、構想が具体化してきた段階で協

議してまいりたいと思います。香美町役場神戸営業所は、マスコミ関係各社へのPR、情報発信を中心の特産品販売の営業拠点など、地元との橋渡し役として営業していきますが、定期的に行き来をするなど十分なコミュニケーションを心がけます。



以前のにぎわいはどこに？



住民のくらしはきびしくなるのに

人口減少時代での対応策は 総合計画等々長期的な検討します



西村 伸一 議員

昭和の高度経済成長からバブル期・その崩壊・そして現在は人口減少時

代に突入している。このことを踏まえる中で町で解決をしなければならぬ問題も多くある。国全体の人口が減少すると何が起るか、特に大都市から離れた中山間地域の我が町は今後10年・20年の間に大幅な人口減少が予想されており、従来とは

異なる発想のもとで町の再生を目指す必要があると思うが

町長 日本は2008年から人口減少社会に入ったと言われており町でも毎年人口減少しています。香美町の人口は平成52年には1万1千537

人と推定され現在の約半数、高齢化率も44%となり超少子・高齢化時代を迎えます。特に懸念しますのが若者の減少です。若者の定着を図るということが重要な課題と捉えており町全体の産業の活性化をさせ若者が多く住める条件をつくり結婚対策・子育て支援等々環境整備を進めていく必要があります。

貯めた金は政治災害の防波堤に 安倍内閣の考え方・方向は正しい



山本 賢司 議員

安倍内閣の政治をどう見るか。自己責任、自助共助と言って社会保障と税の一体改革をやる。消費税を8%に上げる、町も納税義務の発生する会計の料は8%にする。

年金受給額や生活保護基準は引き下げられる。医療も介護も負担は増やし、給付は減らすとなる。町長は、「万が一の災害等にも耐え得る水準の基金20億円が平成26年度末に見込める」と述べた。戦後の歩みを考えても生活保護基準や課税最低限度額を引き上げ、医療保険対象を拡大していくなどで、生活、福祉向上を図ってきた。

今、安倍内閣がやっていること、やろうとしていることは、まさに進歩発展に逆行している

町長 安倍内閣の方向性、考え方は、正しいものであると認識しています。山本議員とは、見方が違います。



全町でラジオ体操に取り組もう



森 利秋 議員

平成26年度の香美町の介護保険給付の予算金額は要介護①の方では一人

ラジオ体操を高年齢者対策として推進せよ 老人クラブにラジオ体操を勧めます

につき年間146万円、②では202万円、③では243万円、④では292万円、⑤では329万円である。これに更に医療費が加算される。高年齢者の皆さんの健康寿命をいかに長くするかが大事である。今後の高齢化率のアップ、医療、介護

の事を考えると高年齢者対策として、介護予防運動としてラジオ体操は最も有効な手段である。教育長、町長の所見を問う

教育長 本年度、全区長さんへラジオ体操のCDを配布致しました。95あります。老人クラブにも配

布致しました。今後の町を考えますと高年齢者対策として誰もが知っているラジオ体操は有効な方法であると考えます。

町長 健康課におきましては各種事業の中でラジオ体操の指導、普及を図って参ります。福祉課では介護予防運動として、全町の老人クラブにラジオ体操を勧めます。



お父さん、お母さんの仕事 応援してね!!



藤井 昌彦 議員

地元事業者に支援を!! 今後も継続支援します

地元事業者は、長年、何代も地元で事業を継続し「若者定住、働き場の確保」の面で地域貢献してきた。町として、僅かでも支援すべきと考え。個人事業主、企業に

町長 香美町で現在保証料約5千5百万円と多額であり、効果も薄いと判断し、財政面からみて保証料支援は考えていません。一部補助や町・県制度限定助成については、

今後、事業支援の全体の中で、もし新しい制度を立ち上げるなら既存制度の見直しも含め検討していきたいと思えます。また、セミナー等は、町が主体ではなく、商工会の後方支援が望しく平成26年新設する「香美町中小企業人材育成支援事業」で事業者の、社内教育、人材育成に貢献していきたいと思えます。



特別支援学校となる旧射添中学校

旧射添中学校が、特別支援学校分校となることが決定した。町長・教育長・関係者の皆様の努力が実りつつあり、素晴らしいことと思う。さて旧射添中学校は現在、射添



岸本 正人 議員

地区公民館・県民交流広場として整備されている。ついでには射添地区公民館は再移転となるわけで、その事情の説明や改修等十分に説明し区長会等の要望・提案を受け入れて、改修等をすべきと考えるがどうか

町長 射添地区の住民の皆様方には快く特別支援学校分校を受け入れていただいたこと、それか

ら2度にわたって公民館を移転していただくこと、本当に大変なご無理を申しました。区長さん方の要望につきましては、現地に集まって旧射添会館を見学していただいて、具体的にここをこう、ここに何が足りない、そういうご提言・ご要望をできる限り聞く方向で考えておりますので、なにとぞご理解をお願いします。

射添公民館は地元の要望を活かせ 区長さん方の要望に対応します



捕獲されたニホンザル



田野 公大 議員

小代区においては、「サルを何とかして欲しい」という声はまだ多い。

サルの徹底した管理と防除と利用を 絶滅もなく被害も少なくの方向でいきます

①メールでの位置情報の発信や頭数管理等を行っているが町民へのアピールが出来ていないのではないかと
②サル監視員の処遇とスキルアップが必要だ
③絶滅させることが出来ないなら徹底した管理と被害防除にきめ細かい対応

④共有の道を視野に先行的取り組みのモデル的利用をするべきだ
町長 サルについては、農作物被害、家屋等に進入による食糧被害が発生しています。対策としてワイヤーメッシュ柵の設

置、追跡払い払い、バッファゾーン整備で効果が現れてきているところ
①ことある機会にサル対策について周知させるようにいたします。
②今後は町独自の事業として監視員の設置を考えています。
③絶滅もなく被害も少なくなる方向で取り組みます。
④同感です。

その他こんな質問も しました

質問議員	質問項目
寺川 秀志	1. 道の駅「あまるべ」前の横断歩道設置について (Part2) 2. リサイクルセンターの復活について 3. 初診時保険外併用療養費について
見塚 修	1. 有害鳥獣被害防止策について問う
徳田喜代子	1. 香住沖メタンハイドレートについて問う 2. ふるさと教育について問う
西谷 尚	1. 町の安心・安全について
山本 賢司	1. 農政は、農家を守り育てるものに 2. 神戸営業所で何を売る？
藤井 昌彦	1. グローバル化について
田野 公大	1. 県道開通へ向けての取り組みについて
岸本 正人	1. 香美町認定ブランド制度創設について 2. 空き家対策について 3. 寒冷地手当について
谷口 眞治	1. 教育長の教育の重点について



暮らしが大変



谷口 眞治 議員

国の医療・介護・年金・子育てなど社会保障の後退と円安による燃油高などアベノミクスの逆流、その上の消費税増税では、町民のくらしは大変となるが、今年度予算で町民

町長 国政については申し上げることはありません。重点施策で実現していこうと考えています。

住宅リフォームの2年時限は、地域内循環経済をめざす商品券の検証のためです。200万円以上工事費の補助金限度20万円の導入は、対象工事費引き上げで町内経済活性化のためです。出産祝金の商品券3千円は、ささやかで絵本でもおむつでもいいです。中学3年生までの医療費の無料化など子育て支援全体のなかで考えたものです。

**予算は国の暴走から町民守れるか
重点施策で実現します**

のくらしは守れるか。重点施策のうち、住宅リフォーム制度の2年時限と新たな補助金限度額20万円をどう考えるか。第1子からの出産祝福制度の祝金が3千円と余りにも少ないが、町長の所信を問う

委員長 西川 誠 一

プロジェクトチームで 交通弱者にやさしい公共交通を



一、はじめに
平成25年度の重点調査として地域公共交通対策を中心に、第6期介護保険事業計画策定の状況について調査し、その他当面する諸問題に鋭意取り組みました。

二、地域公共交通はプロジェクトチームで
地域公共交通対策については、住民ニーズに合

- 副委員長 藤井 昌彦
委員 山本 賢司
田野 公大
橋 秀太郎
上田 勝幸
西村 伸一

った運行体系がとれているか再考するため、公共交通の分野において先進的な取り組みをしている京都府京丹後市、福井県高浜町を視察しました。それぞれ地域に合った公共交通システムを確立しており、京丹後市では既存のバス交通を再生させることを選択し、上限200円の低料金で乗客数を飛躍的に増加させ、反対に高浜町では完全なデマンド型交通を採用することで利用性の向上を図り、住民ニーズに対応してまいりました。

主な所管事務調査・付託案件審査

委員会と開催日	調査事項
第2回 6月18日	1) 請願「がん対策・支援に関する請願書」の審査＝継続審査 2) 請願「平成25年度国民健康保険税を引き上げせずに、引き下げを求める請願書」の審査＝継続審査
第3回 6月25日	1) 請願「平成25年度国民健康保険税を引き上げせずに、引き下げを求める請願書」の審査＝みなし不採択
第4回 7月23日	1) 平成24年度公立香住病院事業企業会計決算審査＝原案認定
第6回 9月11日	1) 道州制導入に反対する意見書について
視察研修 10月22日	1) 京都府京丹後市「公共交通対策の取り組みについて」 2) 福井県高浜町「デマンド型交通（赤ふんバス）の取り組みについて」
第7回 11月12日	1) 視察研修のまとめ 2) 香住青年会議所及び香美町若者まちづくり懇話会と意見交換
第8回 12月10日	1) 請願「がん対策・支援に関する請願書」の審査＝採択 2) 視察研修報告会にむけた報告内容のまとめ
第9回 2月6日	1) 一般廃棄物処理委託業者の決定について 2) ごみ処理施設工事について 3) 第6期介護保険事業計画策定の状況について
第10回 3月3日	1) 請願「要支援者への介護保険給付等の継続を求める意見書の提出を求める請願書」の審査＝採択

点での意見を伺うことができました。その後の委員会で更に議論を重ね、すぐに行動に移すべきとして、早急に横断的なプロジェクトチームの立ち上げが必要であると結論づけました。

三、介護予防施策は重要施策

担当課から今年度の決算見込み、第5期介護保険事業計画の達成状況及び第6期計画の策定状況について、今後の注視すべきであると確認をいたしました。

また国の介護保険制度改正については、今後注視すべきであると確認をいたしました。

委員長 岸本 正人

森林の活性化に向けて 香美町バイオマス計画の推進を

一、はじめに

平成25年度の重点調査として、町内の各産業団体との意見交換を行いました。当面する諸問題・将来的検討課題に鋭意取り組みました。

委員会開催回数は11回、主な調査項目は表のとおりです。

二、町内の86%の面積を占める森林の活性化への活用と香美町バイオマス計画について

町内のほとんどの面積を占める荒廃した森林をどのようにに活用・活性化へつなげるかについて、北但西部森林組合役職員と意見交換を行いました。「森林の団地化による森林整備方式の規模は、30ha程度あればできる。」「森林の活用方法として、木を燃料として使ってもらう運動をする。遊歩道にチップを使用している

副委員長	徳田喜代子
委員	見塚 修
	西谷 尚
	山森 昭夫
	谷口 眞治
	寺川 秀志
	森 利秋

例もありその他の活用も研究したい。「チップ材を集める方法として軽トラックで持込みしてもらうことも考えたい。」「木質（間伐材）バイオマス発電を進めることが

森林の整備と活用、循環型社会を構築していくことなど。意見をお聞きすることができました。また、森林の活用で町おこしをしている岡山県真庭市、西粟倉村、鳥取県智頭町への視察研修を行いました。（前号報告参照）

主な所管事務調査・付託案件審査

委員会と開催日	調査事項
第2回 6月19日	1) 請願「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件」の審査=採択 2) 香美町観光振興計画について
第3回 7月25日	1) 平成24年度上水道事業企業会計決算審査=原案認定
第5回 9月12日	1) 請願「香美町の高校教育を守る請願書」の審査=採択 2) 山陰近畿自動車道（浜坂道路）整備事業に伴う現道払い下げについて 3) 北但西部森林組合チップ工場の視察及び意見交換
視察研修 10月30日～31日	1) 岡山県真庭市「バイオマスツアー真庭」 2) 岡山県西粟倉村「100年の森構想について」 3) 鳥取県智頭町「土佐の森方式（自伐林業方式）による森林活用について」
第7回 11月19日	1) 香美町バイオマス計画について 2) 漁業に対する支援等について 3) 視察研修の取りまとめについて
第8回 11月22日	1) 但馬漁業協同組合との意見交換
第9回 12月9日	1) 除雪計画について 2) 視察研修のまとめ
第10回 1月22日	1) 香美町バイオマス活用推進基本計画について 2) 北但西部森林組合チップ工場の更新について 3) 海の文化館リニューアルについて

三、漁業・水産加工業の現状と課題と発展をどう図るか

町内の基幹産業である漁業・水産加工業について、但馬漁業協同組合役職員と意見交換を行いました。「燃油の高騰は70円以上では無理である。」「漁業に従事するには難しい状況にあり、後継者が育たない。」「観光客の落ち込みが厳しい。増加対策が必要だ。」「食習慣を改善し、魚食普及

を指すべきだ。」「育てる漁業に力を入れるべきだ。」などの意見を聴くことができました。

四、終わりに

委員会として町当局に対し政策提案・チェックをしっかりとすることが重要であると考え努力していきます。



ふる人いっしょ

(小代区)

今回は小代区で旅館経営するかたわら商工会青年部に所属し、幅広く町づくり活躍されている邊見裕作さんに話を伺いました。



邊見裕作さん

会の名称は

OJIRO歩牛会
(おじろあゆもくかい)
といいます。

役職とお名前は

会長をさせていただいている邊見裕作です。
ノルディックウォークのインストラクターもやっています。



小代区の久須部溪谷「要の滝」

発足年月日は

平成24年4月1日に発足しました。

現在の会員数は

会員21名で頑張っています。

会員の構成(年齢、職業等)は

会員の年齢は23歳から65歳で、職業は会社員・自営業ほかいろいろな業種の方たちです。

会の目的は

ノルディックウォークの普及を通して世代を問わない交流と健康づくりや、スポーツと観光を融合させた地域づくり等です。

主な活動は

会の主催で「ナイトノルディックウォーク歩行会」を、毎週金曜日の夜に行っています。また、月に1回ペースで香美町の各所をウォーキングしてきました。その他は社協ノルディックウォークや日本でも美しい村小代まつりで観光とウォーキングを合わせた、但馬牛ゆつたりウォークイベントを行っています。

やっていて良かったと思うことは

ノルディックウォークを通して、たくさんの方々の笑顔を見られることです。

今後の活動目標は

今後はもつともつと多くのの方にノルディックウォークを知っていただき、ウォーキングを通して年齢を問わない交流と心と体の健康づくりや観光振興にも貢献したいです。今年度も各種のウォーキングイベントを企画実施していきたいと思っています。多数の方の参加をお待ちしています。



村岡区の相岡の大池



香住区の岡見公園

議会に関してなにかありましたら

「歩く香美町」として、できれば各区に周回できるウォーキングコースの整備をお願いします。

読者の皆さんへ一言

ノルディックウォークは子供からお年寄りまで楽しめる、心と体に優しいスポーツです。みなさん一緒にウォーキングを楽しみましょう。

編集後記

梅の花もほころぶ三月、特別委員会の26年度予算審議の間に幼稚園の卒園式、小・中学校の卒業式に臨席させていただきました。

中でも中学生の凛々しく規律正しい卒業式に深い感銘を受けると共に、この生徒さんたちが「この町に生まれてよかった。この町で頑張りたい、必ず帰ってきたい」と思える香美町づくりを考えると、改めて職責の重さを痛感しました。

26年度予算は、当局提案通り可決しましたが、その審議経過のあらましを報告し、適正・迅速・丁寧な執行と民意に拠る町政運営を不断に促すことを肝に銘じて、編集後記とします。

編集発行責任者

議長 西坂 秀美

広報公聴常任委員会

委員長 橘 秀太郎
副委員長 徳田喜代子
委員 藤井 昌彦
西谷 尚
山森 昭夫
田野 公大
西村 伸一